

令和5年7月21日
世田谷保健所健康企画課

健康せたがやプラン（第三次）骨子について

1 主旨

区では、区民の健康の保持・増進を図るため、平成24年度から10年間を計画期間とする総合保健計画「健康せたがやプラン（第二次）」及び令和4年度から2年間期間を延長した追補（以下「現行プラン」という。）を策定し、区民が生涯にわたり健やかでこころ豊かに暮らすことができる地域社会の実現を目指して様々な取組みを進めてきた。

この現行プランが令和5年度に終了することから、この間新たに「健康せたがやプラン（第三次）」（以下「第三次プラン」という。）の策定に向けた検討を進めてきた。

次期世田谷区基本計画等との整合性を図りつつ、これまでの取組みの評価や区民の健康づくりに関する調査、新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化を踏まえ、世田谷区健康づくり推進委員会において議論を重ね、このたび第三次プランの骨子を取りまとめたので、報告する。

2 位置づけ及び計画期間

（1）位置づけ

- ① 世田谷区健康づくり推進条例（第11条）に定める区の「健康づくり計画」とする。
- ② 健康増進法に定める「地方健康増進計画（市町村計画）」、食育基本法による「地方食育計画」、厚生労働省通知による「母子保健計画」としての位置づけを併せ持ち、第三次プランにおいては、新たに世田谷区がん対策推進条例による「がん対策推進計画（第二次）」を内包する。
- ③ 自殺対策基本法の「区の自殺対策計画」として位置づけた「世田谷区自殺対策基本方針（令和元年10月）」に基づく施策を反映させ、整合を図る。

（2）計画期間

- ① 計画期間 令和6年度～令和13年度（8年間）
- ② 計画期間の中間段階で評価を行い、令和10年度を目途に改定を予定する。

3 健康せたがやプラン（第三次）骨子

別紙「健康せたがやプラン（第三次）骨子」のとおり。

4 今後のスケジュール（予定）

令和5年	8月26日	区民健康フォーラム
	9月	福祉保健常任委員会報告（計画素案の報告） 計画素案シンポジウム 計画素案パブリックコメント
令和6年	2月	福祉保健常任委員会報告（計画案の報告）
	3月	計画策定

基本理念

区民が生涯にわたり健やかでこころ豊かに暮らすことができる地域社会の実現

世田谷区民の健康状況

良好な健康状況

- 全国や東京都より高い平均寿命
- 65歳未満の主な生活習慣病の死亡割合が減少

健康への意識の高さ

- 8割の区民が毎日を健やかで充実していると認識している
- 8割の区民が自分のことを健康だと思っている
- 9割の区民が自分の健康に関心があるが、健康に関心の薄い層も存在する（特に若い世代に多い）
- 7割以上の区民が何らかの運動に取り組んでいる
- 8割以上の区民が栄養バランスを考慮した食事をしている

区民が抱える主な健康課題

- 思春期世代を含め不安やストレスを感じている人の増加
- 主要死因において、「がん」の死亡率が第一位と高い状況が続いている
- 肥満や高血糖などの生活習慣病予備群の増加
- 子育ての不安や負担感の高まり
- 平均寿命の伸びより65歳健康寿命の伸びは緩やか
- フレイルに関連の深い心不全、骨折、認知症の要介護認定割合の増加
- 若い女性のやせ志向などの誤った健康観
- 安全で安心な飲料水や食品の確保
- 健康危機、新興感染症や災害などの管理体制の整備

コロナ禍で見えたこと

- コロナ禍で人付き合いの頻度が減少した人は、不安や心身の疲れを感じている
- 家庭において、子どもの健康面で困ったことや心配したこととして、「友人との交流の減少」や「ゲームやインターネットの使用時間の増加」が多かった
- 高齢者は他の世代と比べて、コロナ禍で趣味の会やサークル、ジム通い、体操クラブへの参加を控えた人が多い
- かかりつけ医・歯科医・薬局がある人の方が、健康を意識した行動をとっている
- 新型コロナウイルスへの感染を避けるために、健（検）診・受診を控えた人は一定数いた

三次プランの3つの目標

目標1 「自分なりの健康像の実現」
区民の誰もが自らの健康を考え、情報を活用し、自分にあった健康像の実現に取り組んでいる

目標2 「つながりの構築」
人と人とのつながりがある地域社会の中で、区民が健康の保持・増進に取り組み、生き生きと生活している

目標3 「健康・安全の確保」
安全で安心な環境を守り、すべての区民が健やかでこころ豊かに暮らし続けている

●区民に密着したよりきめ細やかな事業の展開
●各施策の『成果指標』に掲げる目指す目標を区民の望ましい健康像や健康課題の改善目標とし、区民とともにその達成を目指す

三次プランの取組み

生涯を通じた健康づくりの推進（11施策）

①こころの健康づくり・総合的な自殺対策の推進

- 偏見や誤解のない地域づくり●相談支援の体制強化
- 総合的な自殺対策の推進など

②がん対策の推進【世田谷区がん対策推進計画】

- 教育・啓発の推進●がん患者や家族等への支援の充実など

③望ましい生活習慣づくり

- 生活習慣改善のきっかけづくり●継続するための支援など

④親と子の健康づくり【世田谷区母子保健計画】

- 妊娠期から切れ目のない支援・地域の子育て支援の充実など

⑤子ども・若者の健康づくり

- からだやこころ、性の健康についての正しい知識の情報提供
- 相談や支援に向けた環境整備など

⑥健康長寿の推進

- 高齢福祉と保健医療の連携強化●介護予防の推進など

⑦食育の推進【世田谷区食育推進計画】

- 正しい知識の普及・啓発●自然に健康になれる食環境づくりなど

⑧口と歯の健康づくり

- ライフステージに応じた健診の実施●オーラルフレイル対策など

⑨女性の健康づくり

- 女性特有の疾病への支援●妊娠・出産等の健康不安への支援など

⑩アルコール依存・薬物乱用を防ぐ環境づくり

- アルコール対策●薬物対策
- インターネットやゲームを含む依存症対策など

⑪たばこ対策

- 喫煙予防●禁煙相談・支援●受動喫煙の防止など

健康に関する安全と安心の確保（4施策）

⑫感染症予防対策の推進

- 感染症予防・まん延防止●予防接種事業など

⑬健康的な生活環境の推進

- 健康的で快適な住まい●安心して水道水が飲める環境整備など

⑭食の安全・安心の推進

- HACCPに沿った衛生管理の推進・支援など

⑮健康危機管理の向上

- 新興・再興感染症対策●災害発生時への備えと保健医療体制整備など

地域の健康づくり（総合支所による取組み）

区民や地域団体等の参画と協働による地域の特性を活かした健康づくり
○地域包括ケアの推進 ○地域の独自取組みと全区共通テーマ

取組みを推進する2つの視点

リーディングプロジェクト

三次プランにおいても、「健康せたがやプラス1」をキーワードに健康づくりプロモーションを進めるとともに、関係者・関係団体などと連携し、健康無関心層も巻き込みながら、自主的かつ合理的に、または自然に、健康につながる選択ができるような仕掛けや工夫を取り入れ、区民の望ましい健康づくりを推進する

新型コロナウイルス感染症からの学び

令和4年度に実施した「コロナ禍における世田谷区民の健康に関する調査」の結果等を踏まえ、特に重点的に取り組むべき課題に対応する施策を位置づけ、総合的に取り組む

三次プランを推進する基本的な考え方

区民の主体的な行動と継続

地域での協働・参画と連携

科学的根拠に基づく施策の展開

健康に係る安全・安心の確保

予防と新たな健康の創造